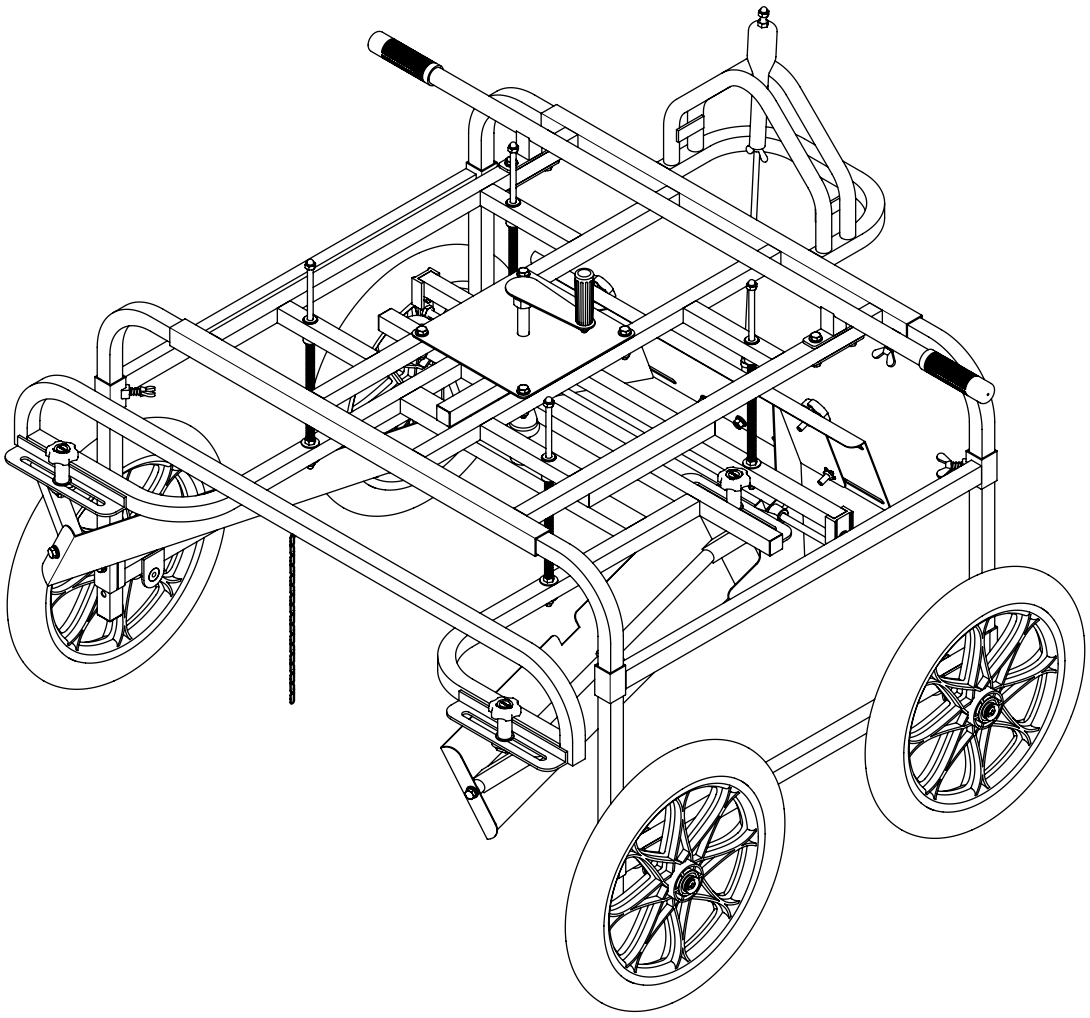
HARAX

移動式いちご畝ならし機

レベリー LB-1014　取扱説明書



目次

- 使用上の注意事項 …… 1
- 組立方法 …… 1
- 各部の名称 …… 2
- 各部の調整方法 …… 3
- ユニットの初期設定 …… 6
- 作業方法 …… 7

- この度は本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- ご使用の際は本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- この説明書は本製品をご使用になる方が、いつでも参照できるよう大切に保管し、すぐ取り出せるようにしてください。

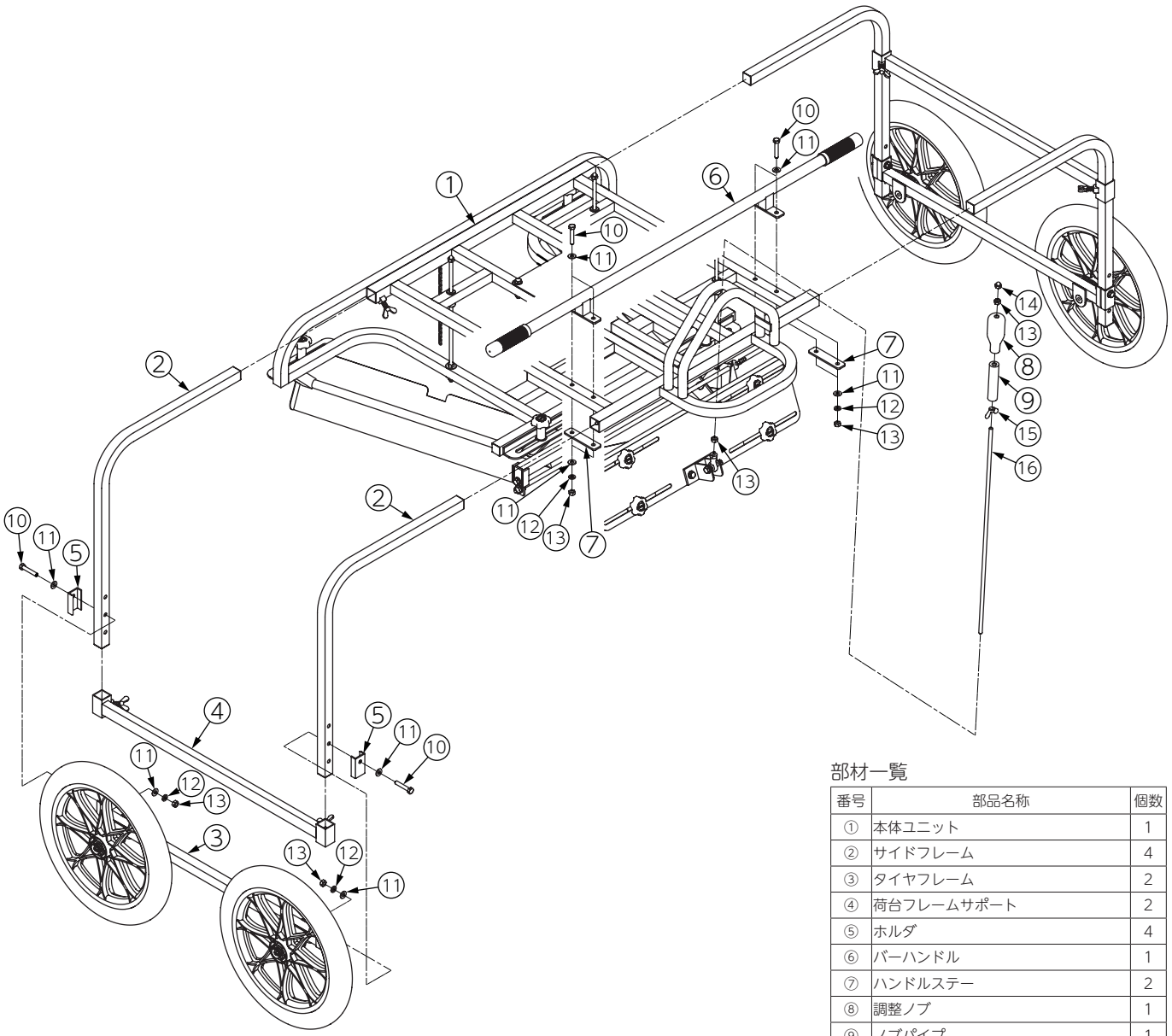
レベリーの
使用動画は
こちら

使用上の注意事項

- 本製品は「移動式いちご畝ならし機」です。これ以外の用途には使用しないでください。
- 人や動物、物などを載せることは絶対にしないでください。収穫台車として使用される場合は、必ず別売の専用テーブルを購入して使用してください。
- ご使用前に各部の点検をし、ボルトのゆるみ・破損・変形等がないことを確認してください。異常を放置したまま使用すると、事故や本製品の破損原因となります。
- 変形した本製品は使用しないでください。変形したアルミ材を曲げ直すと強度が著しく低下します。
- 改造したり加工をしないでください。性能や機能が損なわれ重大な事故を起こす恐れがあります。
- 本製品を機械等での牽引は絶対にしないでください。本製品が破損する恐れがあります。人の力で押し、歩行速度以下でご使用ください。
- 本製品は畝の上面を成形するための装置であり、それ以外の用途ではご使用になれません。本製品に過度な力がかかるような作業はしないでください。
- 本製品は全ての土質や条件に対応する物ではありません。成形後に人の手による補修の場面も想定してください。

組立方法

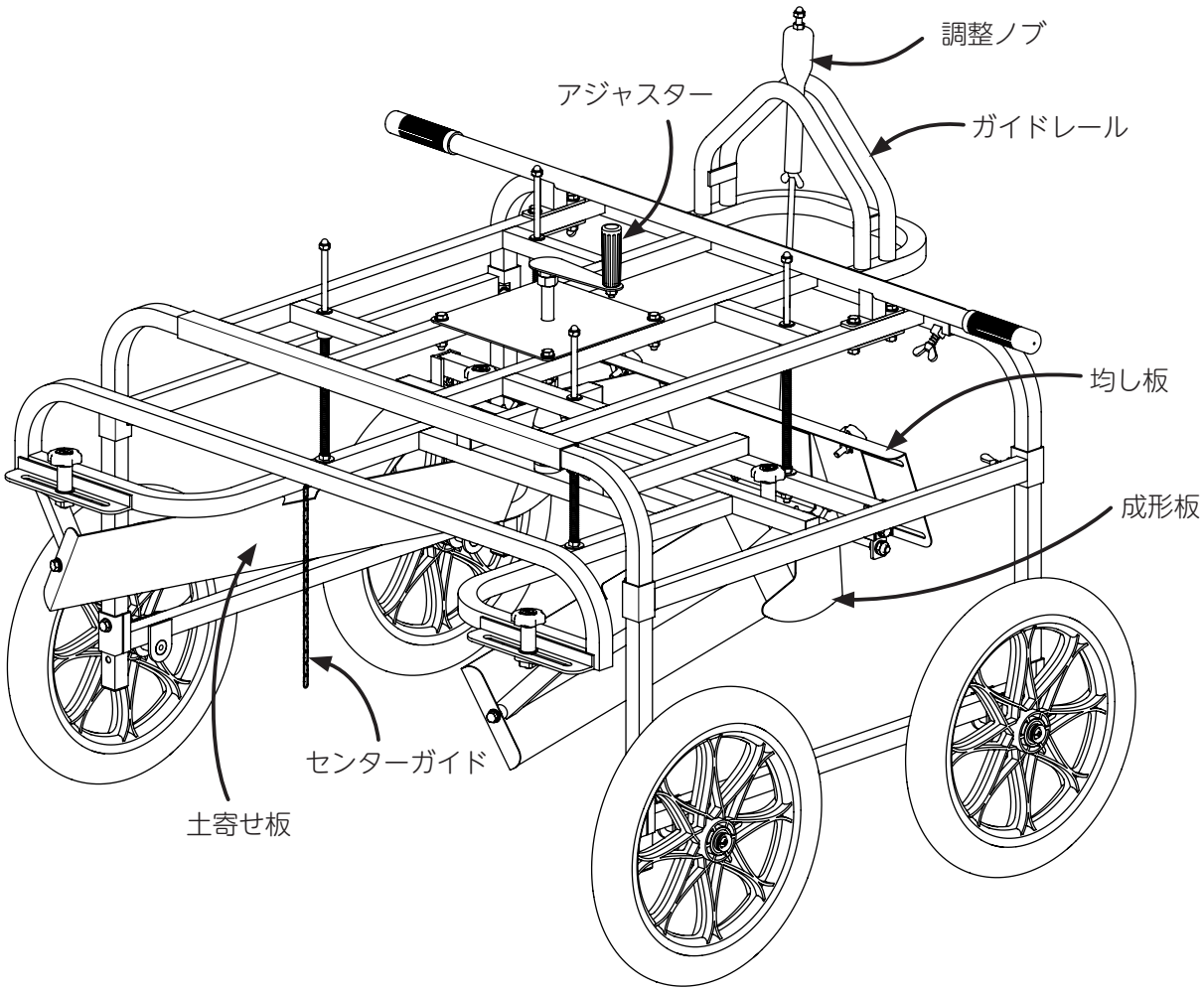
- 下表の部材があることを確認して、下図のように組み立ててください。

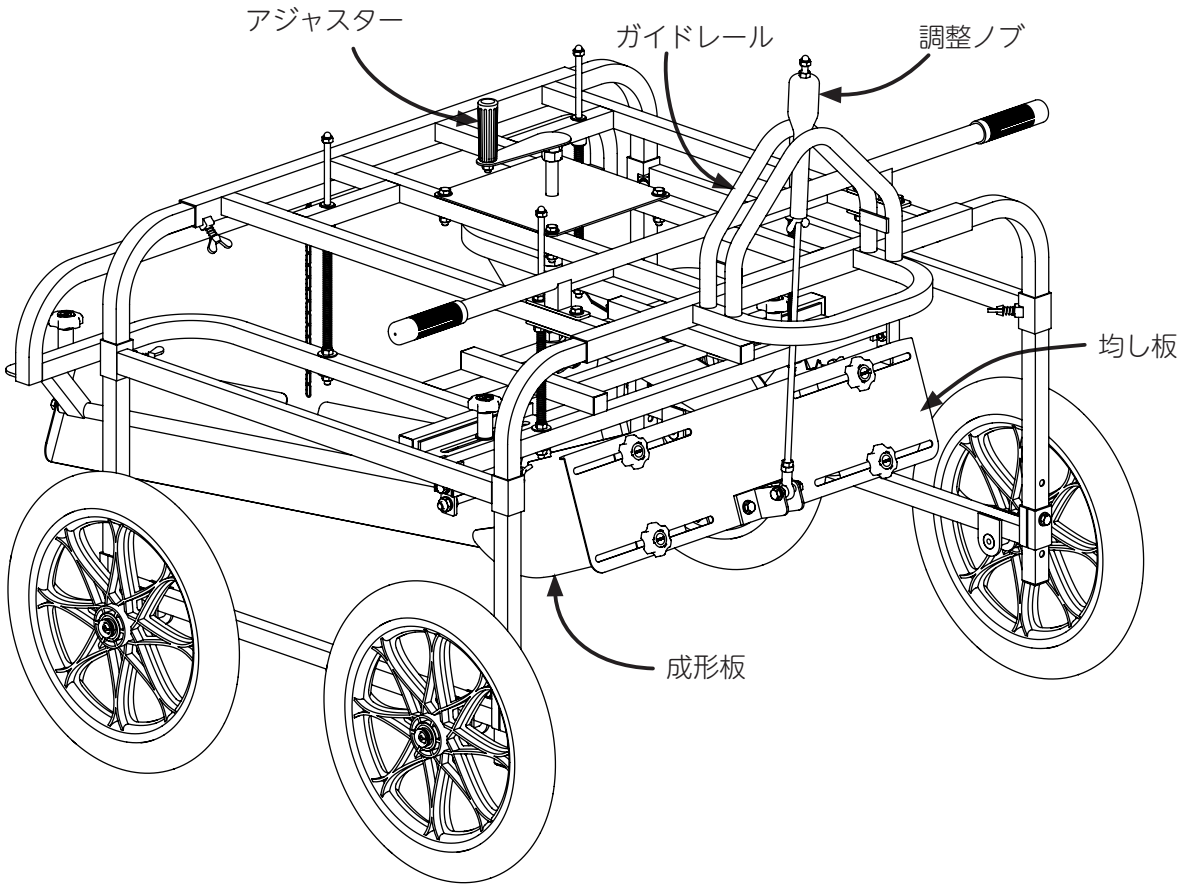


部材一覧

番号	部品名称	個数
①	本体ユニット	1
②	サイドフレーム	4
③	タイヤフレーム	2
④	荷台フレームサポート	2
⑤	ホルダ	4
⑥	バーハンドル	1
⑦	ハンドルステー	2
⑧	調整ノブ	1
⑨	ノブパイプ	1
⑩	六角ボルト M8 × 45	8
⑪	平座金 8.5 × 18 × 1.6t	16
⑫	バネ座金 M8	8
⑬	六角ナット 1 種 M8	10
⑭	袋付き U ナット M8	1
⑮	蝶ナット 2 種 (H タイプ) M8(D=36)	1
⑯	寸切ボルト M8 × 600	1

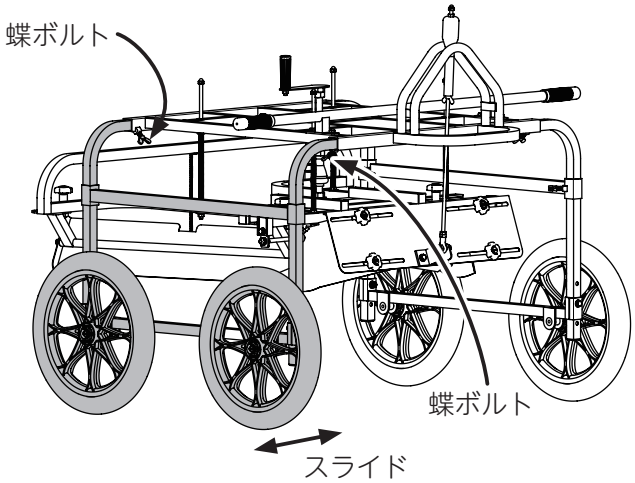
各部の名称


調整ノブ
アジャスター
ガイドレール
均し板
成形板
センターガイド
土寄せ板


アジャスター
ガイドレール
調整ノブ
均し板
成形板

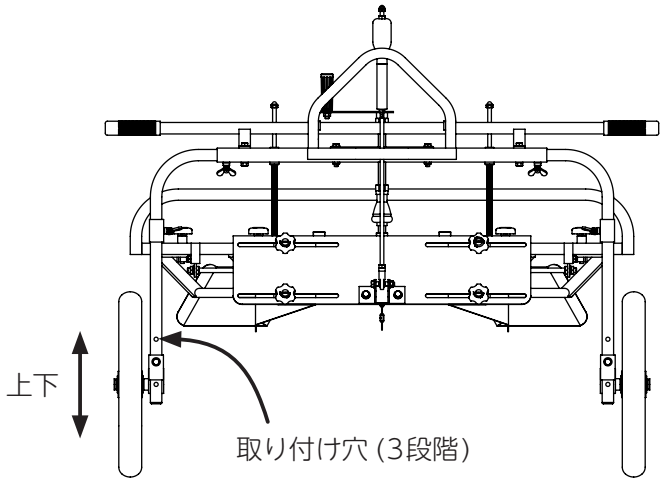
各部の調整方法

タイヤ幅の調整



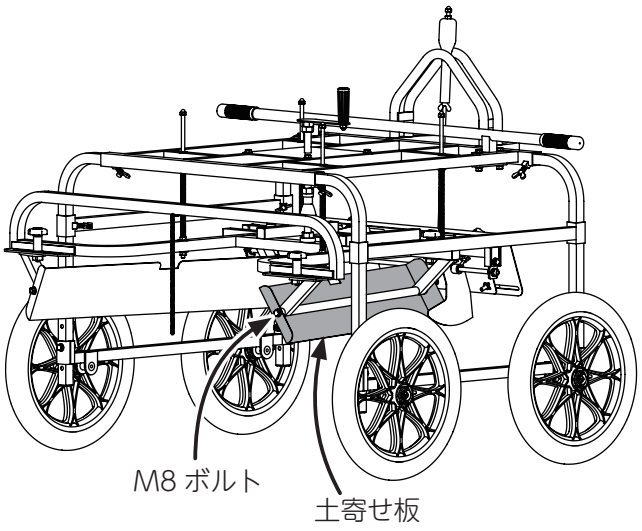
・蝶ボルトを緩めサイドフレームをスライドすることで、タイヤ幅の調整ができます。

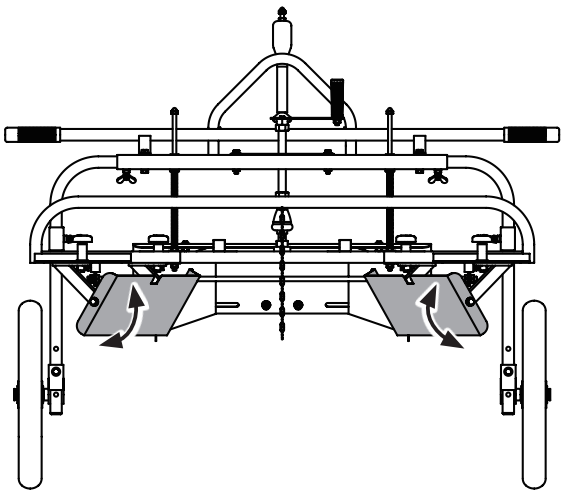
本体ユニットの高さ調整



・タイヤフレームの取り付け位置をサイドフレームの取り付け穴を変えることで、3 段階 (5cm ピッチ) で調整することができます。

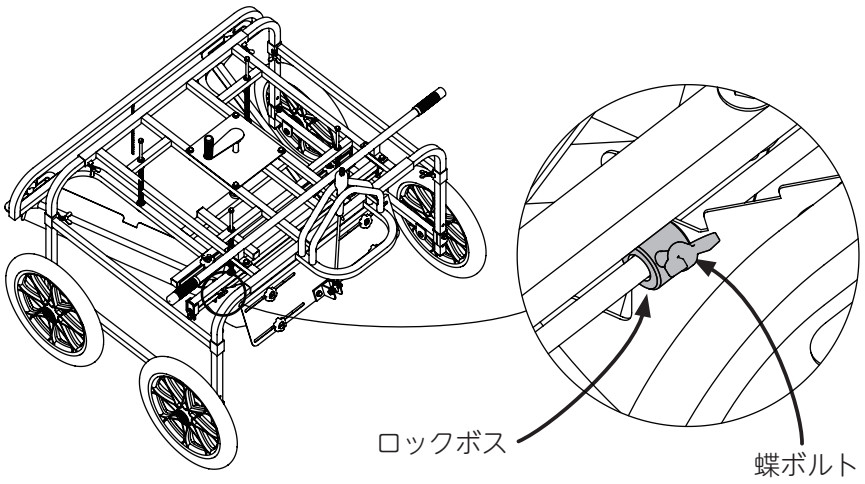
土寄せ板の角度

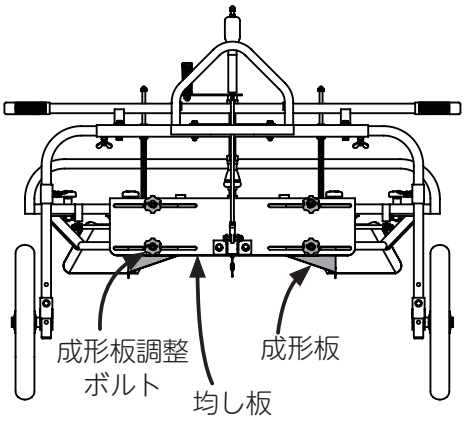




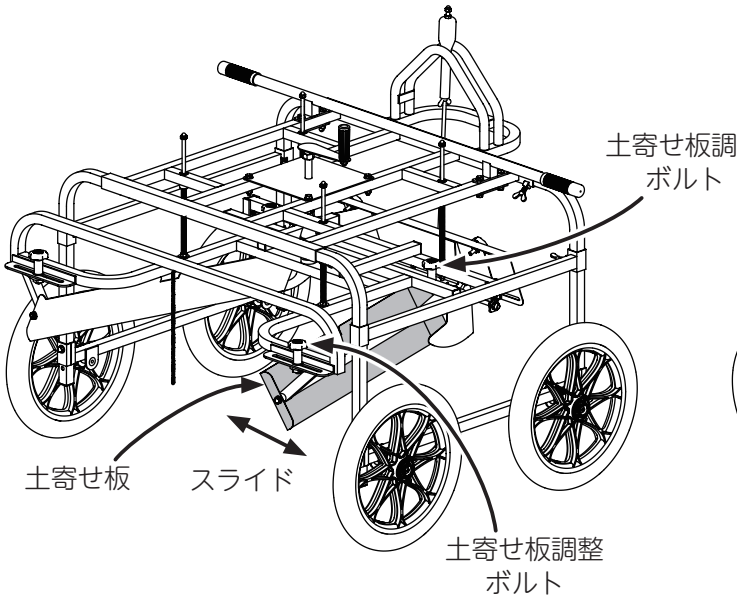
・土寄せ板の前後についているボルトを緩めることで、土寄せ板の角度を調整することができます。
・調整後は、ボルトが確実にしまっていることを確認してください。

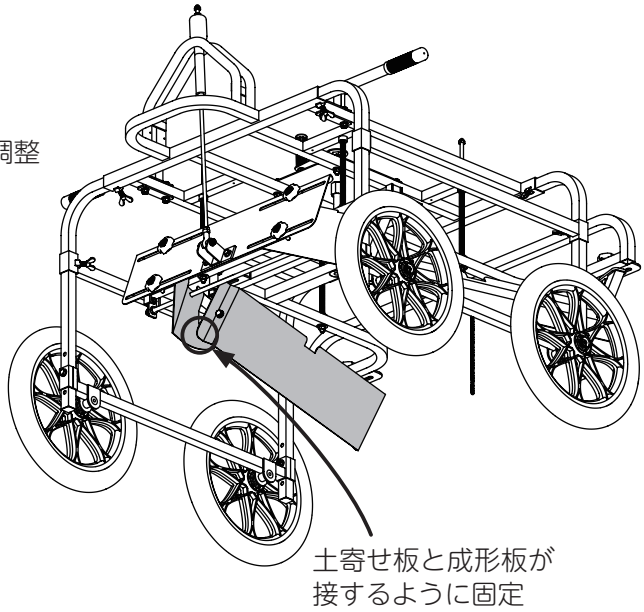
土寄せ板の幅





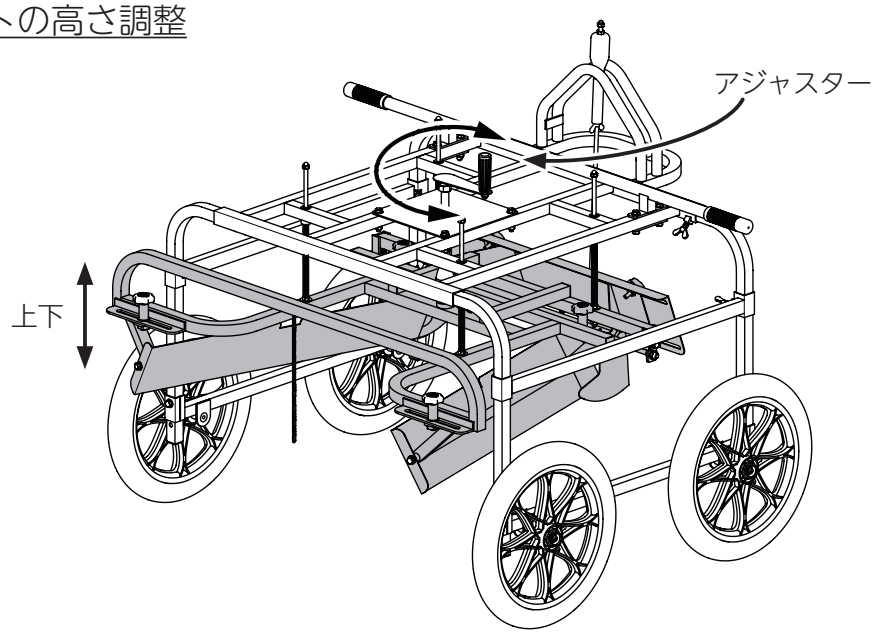
・成形板の外側についているロックボスの蝶ボルトを緩めます。
・成形板調整ボルトを緩め、成形板がフリーになるようにします。





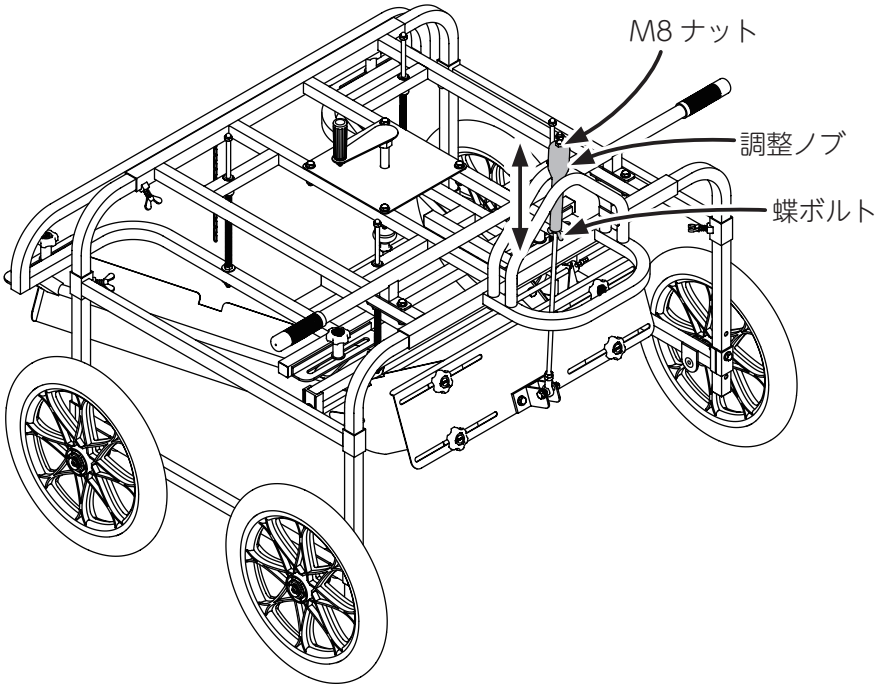
・土寄せ板調整ボルトを緩め土寄せ板をスライドすることで、土寄せ板の幅を調整することができます。
・土寄せ板の幅が決まりましたら土寄せ板調整ボルトを締め固定します。
・成形板を土寄せ板に接するようスライドさせ、成形板調整ボルトを締めます。成形板と土寄せ板のスキマが小さくなると、土のこぼれ落ちる量が少なくなります。
・ロックボスを成形板に接するようにスライドし、蝶ボルトを締めて成形板を固定します。

畝均しユニットの高さ調整



・アジャスターを回転させることで、畝均しユニットの高さ調整ができます。
・時計回りに回すと下がり、反時計回りに回すと上がります。

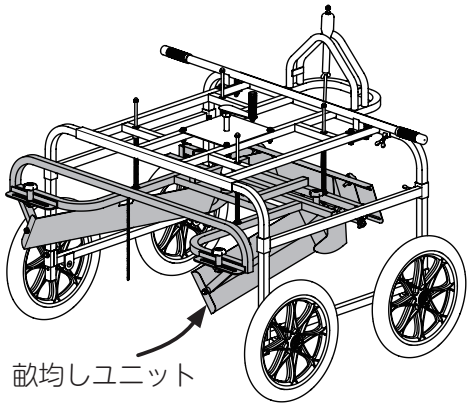
調整ノブの高さ調整

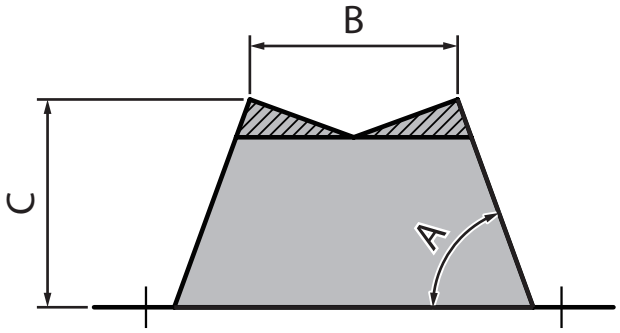


・蝶ナットを緩めることで、調整ノブを上下にスライドすることができます。
・調整ノブの高さが決まりましたら、M8 ナットの位置を決め、蝶ナットを締め付けることで固定できます。

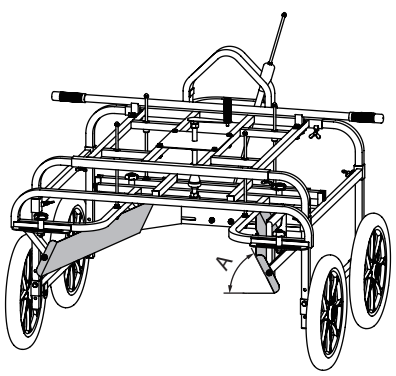
畝均しユニットの初期設定

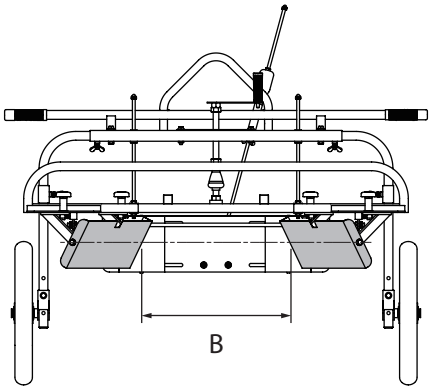
この初期設定はあくまでも目安です。各部の調整方法を確認しながら調整を行ってください。
実際に畝を均して仕上がり寸法を確認してから調整を行い作業してください。

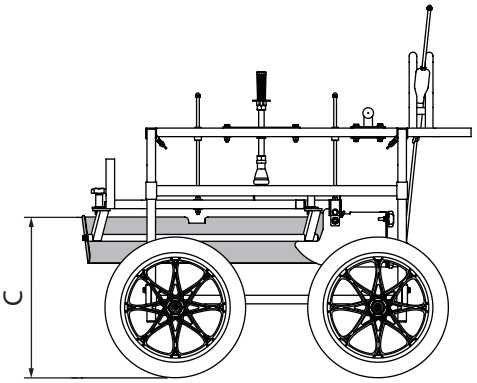




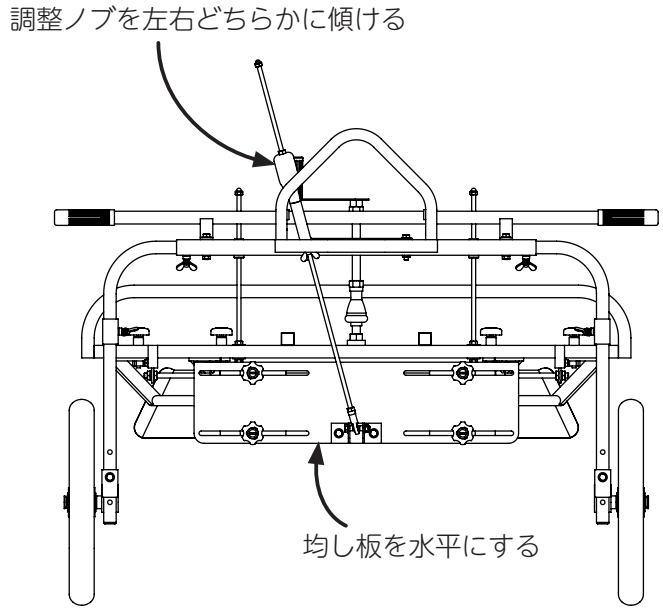
畝立て機で畝を立ててから、上図の A,B,C の寸法を測定し畝均しユニットの調整を行います。







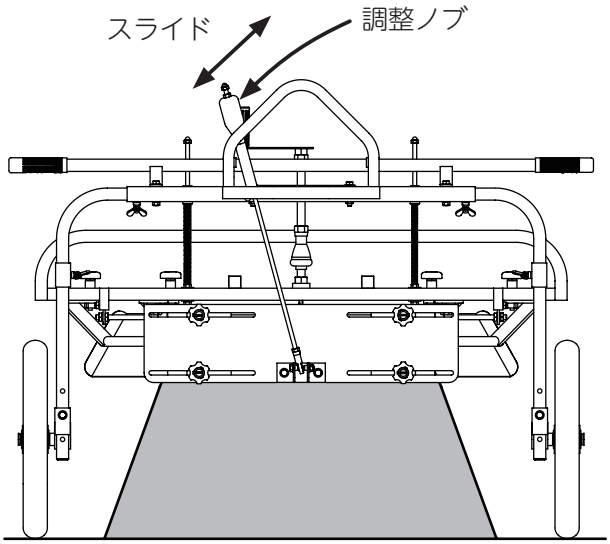
- 畝と土寄せ板の角度 A を大まかに合わせます。本製品の出荷状態は約 60° です。
- 畝と土寄せ板の寸法 B を合わせます。この寸法を小さくすることで土が溢れ落ちにくくなります。
- アジャスターを回して畝均しユニットの位置を中間あたりにし、タイヤフレームの高さを調整して、畝と畝均しユニットの　高さ寸法 C を大まかに合わせます。実際に畝にセットし、前進をして土の寄せ具合によってアジャスターを回して畝均しユニットの高さを調整してください。

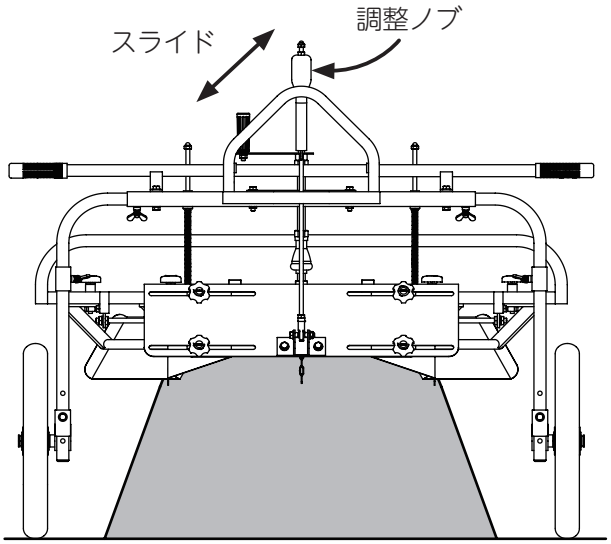


- 調整ノブを左右どちらかに寄せた時に均し板が水平になるように調整ノブの高さを調整してください。

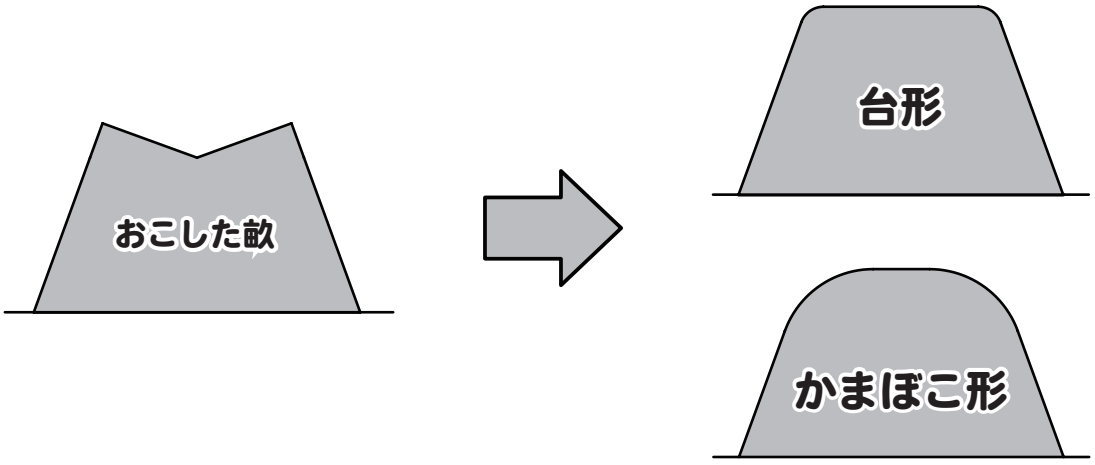
作業方法

- 作業する際は必ず二人で作業してください。
- 本製品を畝にセットし、一人はバーハンドルと調整ノブを持ち土の寄せ具合に応じて調整ノブをガイドレールに沿わせてスライドし、位置を調整してください。もう一人はセンターガイドを畝のセンターに合わせて本体の向きを調整してください。
- 向きを変える際は二人で持ち上げ、注意して方向転換をしてください。
- 本製品を畝にセットし、歩行速度以下で押し進めながら均し板の辺りに土が集まっていることを確認してください。土の集まり具合によって調整ノブをガイドレールに沿わせてスライドし、位置を調整します。





- 畝に凹みができる場合、調整ノブの位置を低くすることで土が多く集まりやすくなります。また、それとは反対に土がユニットの上から溢れでそうな時には、調整ノブの位置を高くして土を逃す量を多くします。
- 一度畝を均したあとに畝の凹み具合を見ながら、もう一度均すことできれいに仕上げることができます。
- アジャスター及び調整ノブの位置 (均し板) を低くすると台形に近くなり、高くすることでかまぼこ型に近い形になります。実際に畝を均しながらお好みの形になるようにアジャスターで上下を調整したり、調整ノブの位置を調整したりしてください。



ハラックス株式会社
〒 377-0027 群馬県渋川市渋川 990-1
TEL 0279-23-5828/FAX 0279-23-2669
ホームページ :https://harax.co.jp/